

令和 8 年 8 月 20 日 午前 8 時 30 分受領

令和 8 年 8 月 20 日

日出町議会議長 阿部 真二 様

議員番号・氏名 11 番 池田 淳子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 がん患者の社会参加を支える「アピアランスケア」について ※「アピアランスケア」とは、がん治療による外見の変化に対する支援のこと	日本では生涯で男性の61.1%、女性の50.1%ががんと診断される時代であり、がんは誰もが当事者となり得る病気である。一方、医療の進歩により、がんの生存率は向上し、治療を受けながら社会生活を続ける方も増えている。 そこで、治療に伴う脱毛や皮膚、爪、乳房などの外見の変化が、患者の心理面や社会参加に与える影響を踏まえ、がん患者が治療を受けながら自分らしく社会生活を続けられるよう、アピアランスケアの重要性について町の認識を伺うとともに、日出町における支援の現状、大分県との連携及び今後の支援の充実について問う。	① がん患者の治療に伴う外見の変化について、どのような相談・支援を行っているのか。 ② 医療用ウィッグや乳房補整具等に関する町独自の助成制度はあるのか。 ③ 現在、アピアランスケアについて町民からどのような相談が寄せられているか。 ④ がん患者の外見の変化が就労や社会参加、心理面に与える影響を町としてどのように認識しているか。 ⑤ 大分県の「がん患者社会参加応援事業」について、日出町民への周知・情報提供、相談対応や申請案内をどのように行っているのか。 ⑥ がん相談支援センターと町との連携はどのようになっているのか。 ⑦ 日出町独自の助成制度を創設する考えは。	



質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
2 誰もが利用しやすいゴミ 収集体制について	令和4年6月議会において、ごみ出しが困難な高齢者等への支援について質問したが、その後も同僚議員からも何度か取り上げられており、「日出町一般廃棄物処理基本計画」にも「ごみの排出困難者に配慮した収集の充実」や「ごみ集積所のあり方と個別収集の検討」が盛り込まれている。 ごみ出しに困難を抱える方への個別収集のあり方や外国人住民への分かりやすいごみ出し情報の提供について問う。	① 高齢化等により、ごみ集積所までごみを運ぶことが困難になった方に対して、どのような支援を行っているか。 ② 一般廃棄物処理基本計画に示されている「ごみの排出困難者に配慮した収集の充実」や「ごみ集積所のあり方と個別収集の検討」について、現在どこまで検討・取組が進んでいるのか。 ③ 個別収集の検討にあたり小型収集車導入の検討は。 ④ 外国人住民に対して、ごみの分別や排出方法の周知はどのように行っているのか。 ⑤ 外国人住民にもごみ出しのルールを分かりやすく理解してもらうため、やさしい日本語、多言語を活用した案内を作成しては。	
3 民間活力を活用した町政 運営について	人口減少や財政的な制約がある中、行政だけではすべての公共施設やサービスを担うことには限界があり、民間の資金やノウハウ、アイデアを活用する官民連携が重要となっている。町民から要望のある施設についても、多額の予算を要するため町単独での整備・運営が難しいことは理解できる。 そこで、民間事業者との連携や民間からの提案を積極的に取り入れ、町民ニーズの実現につなげるための官民連携の仕組みづくりについて問う	① 官民連携の現状と、民間活力を活用した取組を今後進めていく考えはあるのか。 ② 文化ホールや全天候型遊戯施設など、町民から要望のある施設の整備・運営について、民間活力を活用して実現する可能性を検討しているか。 ③ 現在整備中の豊岡公園をはじめ、公共施設や地域資源の整備・管理運営において、民間事業者からの提案やノウハウを積極的に取り入れる仕組みを構築してはどうか。	